

## 第1章 プランの基本的な考え方

### 1 プラン策定の趣旨

入間市は、これまで「入間市男女共同参画推進条例」に基づき、令和4年4月から令和9年3月までを期間とする第5次いるま男女共同参画プラン(以下、「第5次プラン」という。)を策定し、男女共同参画社会に向けた施策を推進してきました。

その成果は、令和7年6月に実施した「男女共同参画社会に向けての市民意識調査」(以下、「市民意識調査」という。)結果からみると、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に否定的な市民が8割を超えるなど、男女の役割分担に対する意識は、近年における「男女平等」の啓発活動により、一定の効果が出来ているものと考えられます。

一方で、「男女の地位の平等感」では、男性の方が社会通念や慣習によって優遇されており、平等と感じていない市民が7割という状況がみられ、固定的な思い込みをなくすためにより一層の取組が必要と考えます。

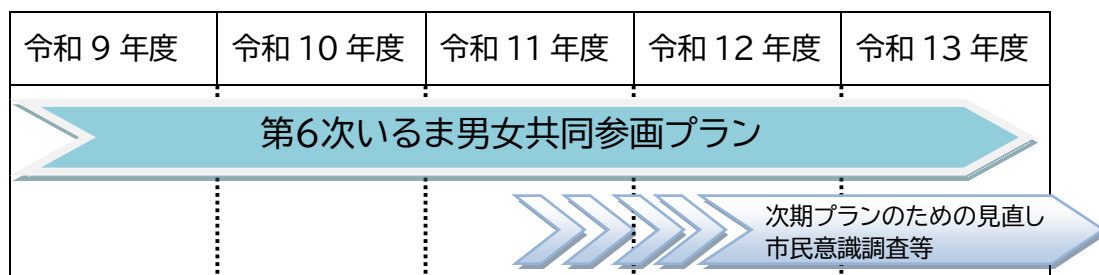
こうしたことから、男女共同参画の推進に向けた取組を進めていくに当たり、これまでの施策の成果、市民意識調査の結果及び男女共同参画審議会の答申を踏まえて、「第6次いるま男女共同参画プラン」を策定しました。

### 2 プランの基本理念

第6次いるま男女共同参画プラン(以下、「第6次プラン」という。)では、「多様性を認め合い、ともに生きるまち 入間」をめざす姿に掲げ、入間市男女共同参画推進条例の基本理念に基づき、あらゆる分野において女性も男性も一人ひとりが個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合う男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進します。

### 3 プランの期間

第6次プランの期間は、令和9(2027)年度から令和13(2031)年度までの5年間としました。



### 4 プランの目標

第6次プランでは男女共同参画社会の実現のために、「多様性を認め合い、ともに生きるまち 入間」をめざして 3 つの基本目標を設定しました。

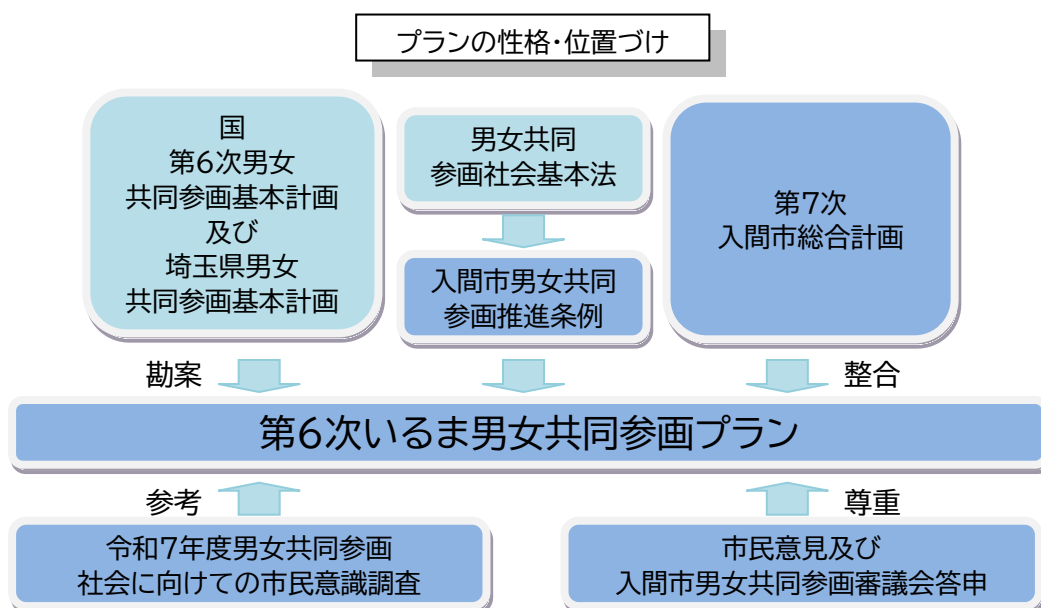
**基本目標1 男女共同参画の啓発と多様な生きかたの尊重**

**基本目標2 男女が共に活躍できる体制づくりと支援**

**基本目標3 誰もが安全で安心できる生活と環境整備**

## 5 プランの性格・位置づけ

- I 第6次プランの4つの基本目標は、「入間市男女共同参画推進条例」の基本理念に基づいています。
- II 「入間市男女共同参画推進条例」は、すべての国民の個人尊重を謳う憲法第13条と、法の下での男女平等を説く第14条、更に、日本が1985年に批准した、あらゆる種類の不当な女性差別の撤廃を義務づける「女子差別撤廃条約」を源泉とする男女共同参画推進の大きな流れの最前線に位置しています。
- III 第6次プランは、法律的には「男女共同参画社会基本法」に基づく国及び埼玉県男女共同参画基本計画を踏まえており、同法第14条第3項に規定する「市町村男女共同参画計画」に該当します。
- IV 第6次プランの基本目標2の課題(1)「あらゆる分野への女性参画の推進」、(2)「働く女性、働きたい女性の支援」、(3)「仕事と家庭生活の両立支援」の3つの課題は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(以下「女性活躍推進法」)」に基づく、「市町村推進計画」に対応しています。
- V 第6次プランの基本目標3の課題(2)「配偶者等からの暴力根絶と被害者支援」は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(以下「DV防止法」)」及び「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(以下「女性支援法」)」に基づく「市町村基本計画」に対応しています。
- VI 第6次プランは、第5次プランの事業成果を基に、「第7次入間市総合計画」における男女共同参画社会の実現に向けた基本計画として、他の施策との総合的な推進を目指します。
- VII 第6次プランは、令和7(2025)年に実施した市民意識調査の結果を踏まえるとともに、市民意見及び入間市男女共同参画審議会からの答申を尊重しています。



## 6 プランの数値目標

このプランには、施策の実質的な効果を確認するため、数値目標を示しています。

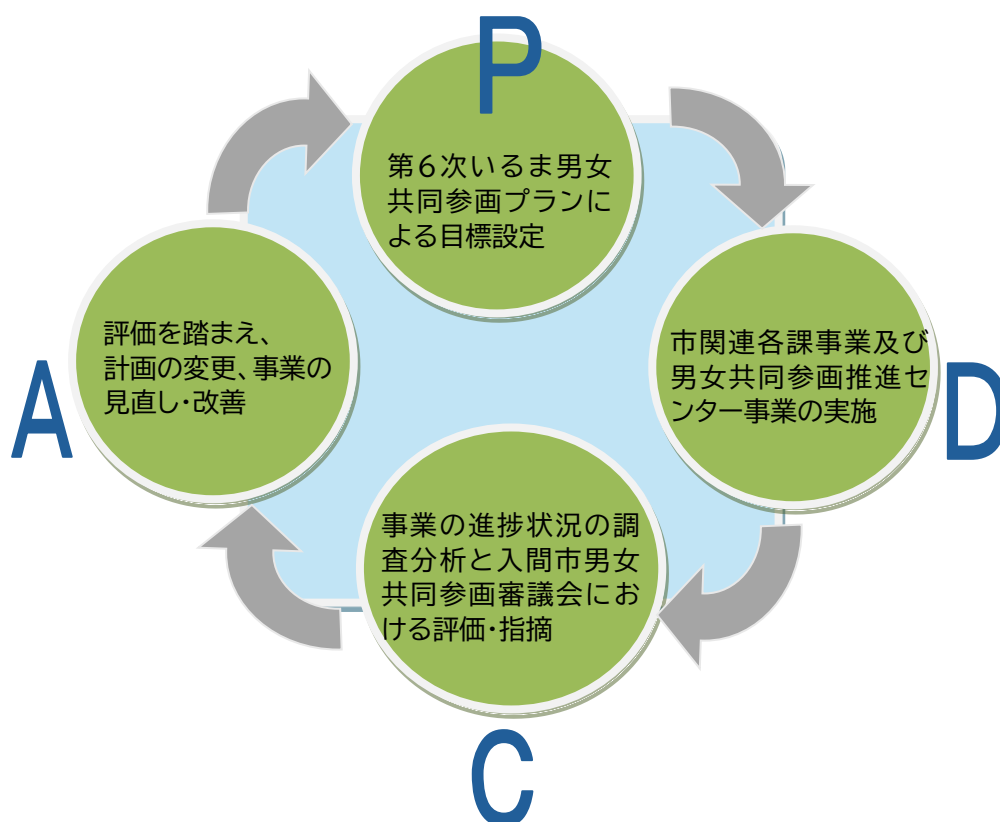
なお、この数値目標の現状値は「市民意識調査」等によります。

## 7 プランの推進体制

プランの推進にあたっては、PDCAサイクル(注)の手法を用い、プランの着実な推進を図るため、プランの進捗状況については、毎年度に取組実施課、男女共同参画審議会、男女共同参画担当課による分析・評価を行い、課題解決に取り組みます。

また、5年ごとに実施する市民意識調査により、市民の視点から評価を行います。

### PDCAサイクルの基本的な考え方



(注)PDCAサイクルとは、Pは「Plan＝計画」、Dは「Do＝実行」、Cは「Check＝評価」、Aは「Action＝改善」を意味し、PDCAサイクルを繰り返してより良いプランへと改善することが望まれています。